

# 地域資源活用による交流 型体験の里づくり事業

令和3年度活動状況  
令和4年度活動計画

城島活力創造推進協議会

(城島地区地域活動推進会議／平塚市／湘南NPOサポートセンター)

# 第1 事業概要

## (1) 事業全体目的

- ・ 地域活動団体、地元の大学・高校や民間企業と連携し、地域資源を活用した交流・体験活動と高齢者がいきいき参画できる仕組みづくりを通し、地域運営の持続性を向上していく

## (2) 事業全体内容

地域資源の付加価値化  
体験・学びによるリピート

### 1年目（令和2年度）

- ・ 目標共有
- ・ アイデア企画
- ・ 多世代参画PR

### 2年目（令和3年度）

- ・ 試行プロジェクトの実施
- ・ 研修・実験フィールド化検討
- ・ 関係協力体制の構築

### 3年目（令和4年度）

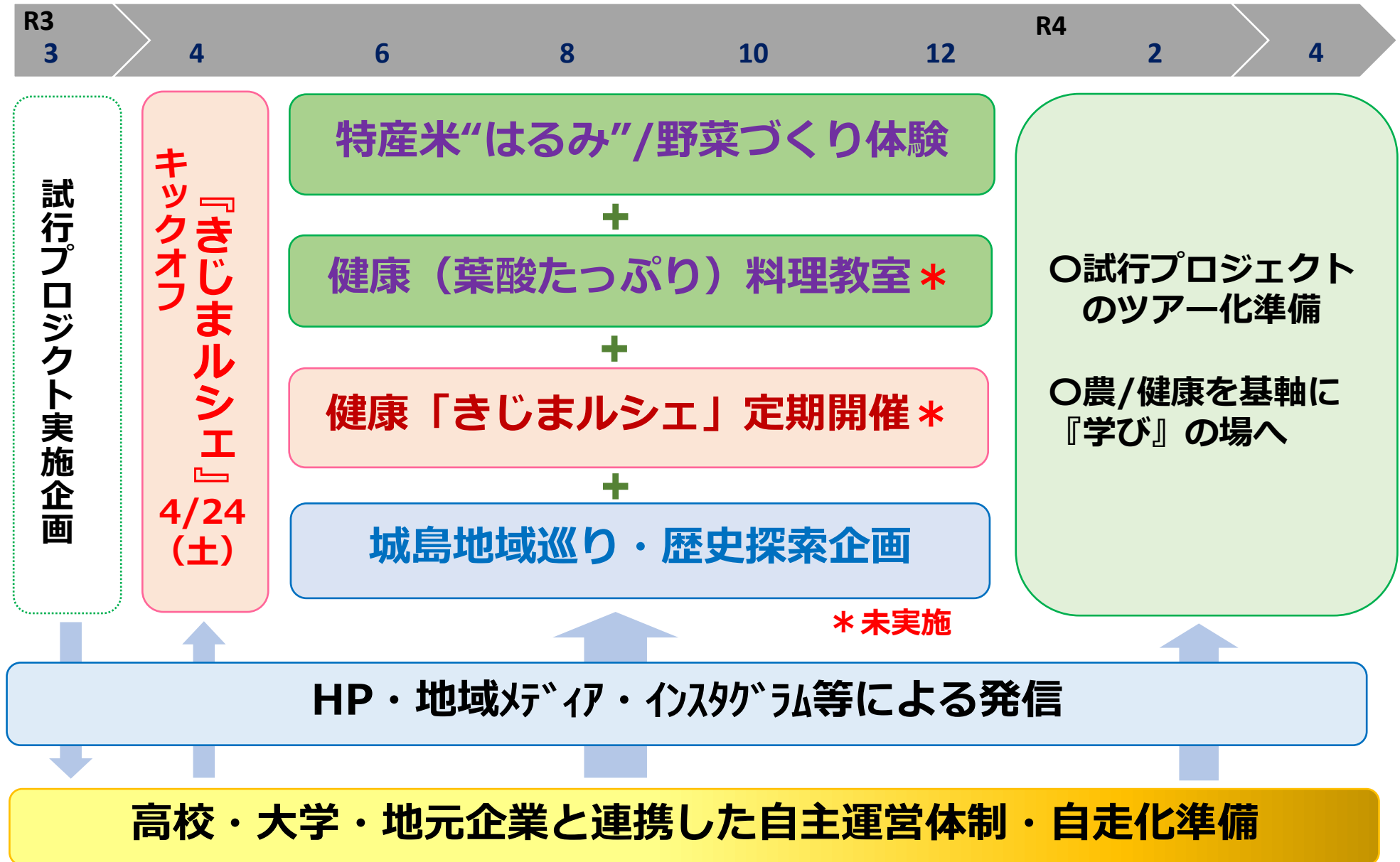
- ・ プロジェクトの定着/ツアー化
- ・ 学び/交流の場の拡大
- ・ 自走組織化

地域・学校の連携  
地域主体の運営組織化

高齢者の参画 + 地元経営者・土地所有者の協力

# 第2 令和3年度取組み状況

## (1) 令和3年度スケジュール



# 第2 令和3年度取組み状況

## (2) 実績

### ① きじマルシェ

4/24 (土) 田植え前のいげ田

- ・ 特産野菜販売
- ・ 事業紹介パネル/米づくりマシ展示
- ・ ふれあいコーナー

\* 参加者 約200名

城島23%、市内74%、市外3%

\* スタッフ (含む学生) 約60名



# 第2 令和3年度取組み状況

## (2) 実績

### ②米/野菜づくり体験教室

5/15 (土) ~11/20 (土) 6回

- ・ 田植え/稲刈り
- ・ 野菜植付/収穫

\*参加者 21家族

\*スタッフ (含む学生) 延約120名

\*参加費 1万円/家族

収穫新米・野菜の持帰り



### ●野菜植付/収穫

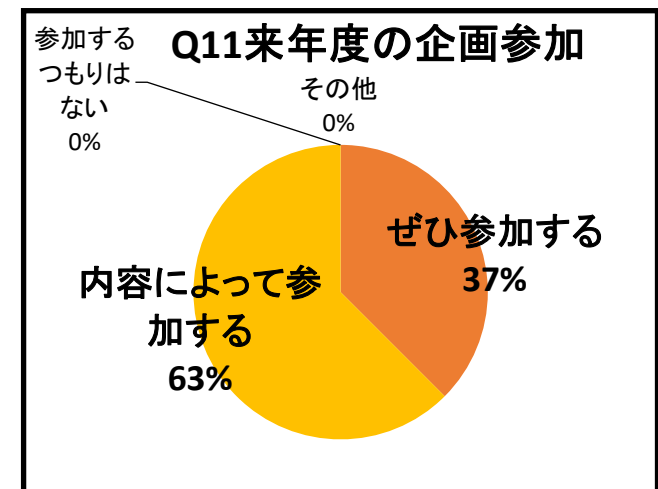
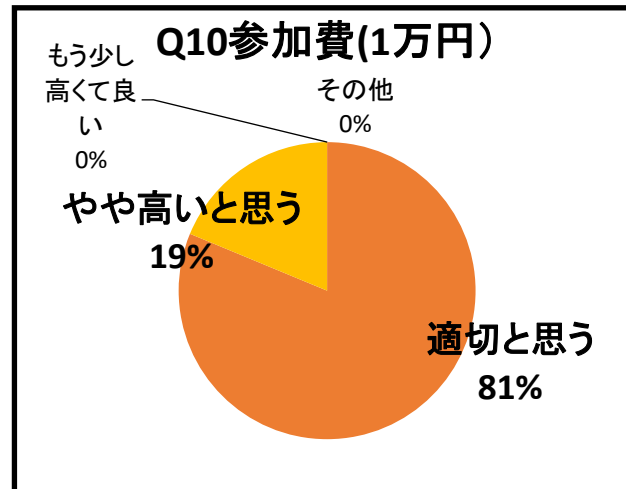
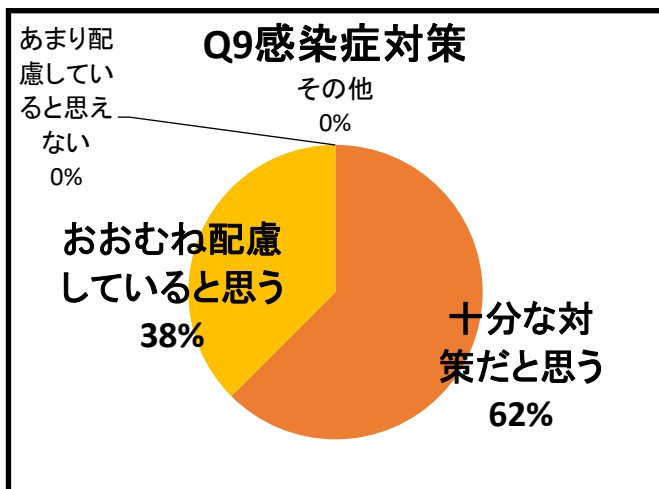
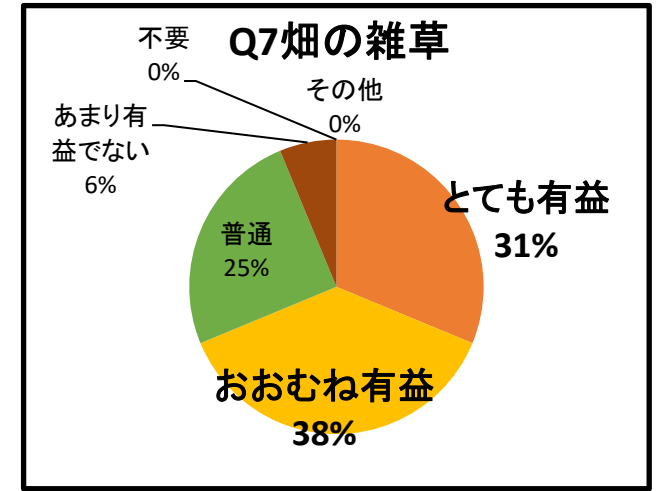
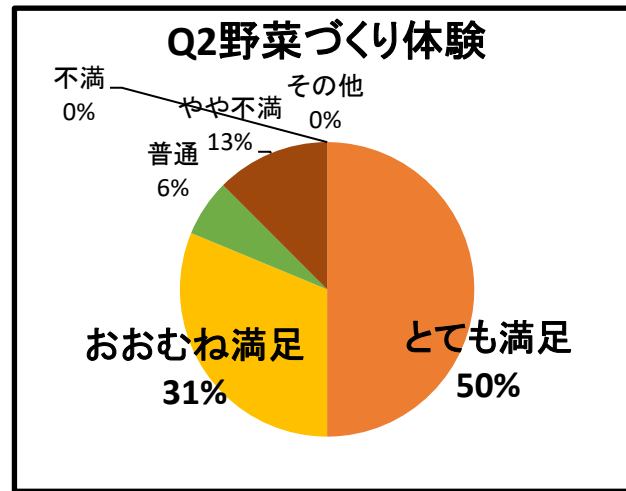
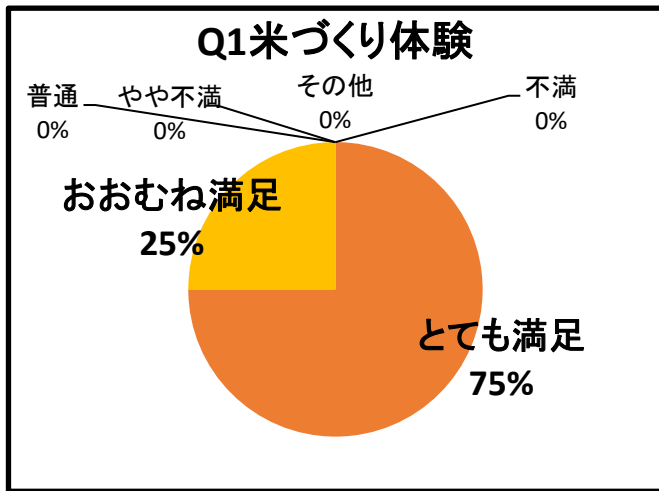
(5/15、6/12、7/4、10/3)

### ●田植え/稲刈り (5/15、6/12、10/3)

# 第2 令和3年度取組み状況

## (2) 実績

### ● 「米/野菜づくり体験教室」参加者アンケート結果（11/20収穫祭 16組）



# 第2 令和3年度取組み状況

## (2) 実績

### ③ 自然・歴史探索試行PJ

－感染防止策を踏まえ  
地元スタッフ中心の試行・準備－

#### ・ 自然農法（みそづくり）

7/18（日） 参加者 18名

10/17（日） 参加者 10名

11/23（火） 参加者 10名

#### ・ 弁天池再生（生き物観察）

8/8（日） 参加者 15名

#### ・ ダイアモンド富士/星空観察

9/23（木） 参加者 10名

12/25（日） 参加者 16名

#### ・ 城島新川秋景色散策

10/10（日） 参加者 23名

#### \* 健康薬膳料理教室

1/17(月) 参加予定16名

→感染防止対策のため中止



# 第2 令和3年度取組み状況

## (2) 実績

### ④ 情報発信

- ・ HP「城島へようこそ！」開設
- ・ インスタグラム「KIJIMARCHE」開設
- ・ 地元メディア放映/掲載
  - きじマルシェ、弁天池再生準備等
- ・ 事業活動報告（公民館だより）
  - 月1回 現在12回
- ・ 「広報ひらつか」での収穫祭の紹介

### HP「城島へようこそ！」



### ⑤ 外部機関連携

- ・ 東海大卒論テーマ・フィールドとの連携
- ・ 平塚農商高「生徒商業研究」との連携
- ・ 地元関連組織、移住者/組織との連携
  - 湘南ライスセンター、介護支援団体
  - 草木循環Labo（各種体験企画）

### Instagram「KIJIMARCHE」



# 第2 令和3年度取組み状況

## (2) 実績

### 「広報ひらつか」1/21号

## 体験を通して 人を呼び込む

「城島の大きな強みは農業。農業体験などを通して多くの世代に城島の魅力を伝え、地域の人口増加と活性化につながるのが目標です」と力強く語るのは、同会議を主宰する石塚崇さん。同会議は発足以来、会議で出た意見をもとに、耕作放棄地への花植えなど多くの地域活動を引っ張り、成果を上げてきたといいます。

同会議の発足当初は全てが手探りだったと振り返る石塚さん。それでも、地域住民にアンケートを採り、中心的な活動である農業体験や地域散策のほか、農産物などを販売する青空市「きじマルシェ」を開くなど、コロナ禍にも負けずに活動を続けてきました。

### 自然との触れ合いを軸に

農業体験では、参加者は5月に田植え・作付けをしてから何度も畑を訪れ、草刈り・収穫などの作業をします。「参加者のほとんどが親子で、小さな子どもにとって自然に触れることは良いことなので、始めてよかったなと思いますね」とほほ笑む石塚さん。子どもたちが泥んこになりながらも目を輝かせてい

### 城島地区地域活動推進会議

☎ 城島公民館 ☎55-1525

高齢化と人口減少を見据え、城島地区を活性化させるために、平成30年にスタートした城島地区地域活動推進会議。市や湘南NPOサポートセンターと連携し、農業体験などを通して、城島の魅力を市内外に発信し続けています。

令和3年11月20日に同会議主催で開かれた、年間を通じた農業体験のまとめである「収穫祭」取材しました。

るのが印象的だったといいます。

コロナ禍で活動がスタートした昨年の農業体験ですが、作業を田んぼと畑の二手に分けるなどして密を避け、工夫して活動していたといいます。「収穫まで無事にできて一安心です。来年はさらに多くの方が体験できるようにしたいですね」。

今後は農業体験に加え、さまざまな学びのプログラムを考え、さらに地域を活性化させたいと話す石塚さん。多くの人に面白そうだと思う内容に仕上げ、地域内外から参加者を呼び込む予定です。「星空観察会や薬膳料理教室など、温めているアイデアはたくさんあります。ぜひ参加して、城島の魅力を目一杯に感じてみてください」と呼び掛けます。



▲自分で育てた野菜を収穫します

◀収穫祭でとれたお米をその場で試食。とれたてのお米はおいしいね

城島地区地域活動推進会議からのお知らせ

## 「地域資源活用による 交流型体験の里づくり事業」 第12回 活動報告(案)

### ■12/25(土) 星空観察準備会の報告

城島公民館事業と連携し、今年最後の体験準備の「星空観察」を12/25(土)16時から城島小学校で開催し、4組のご家族の参加がありました。

当日は天体望遠鏡での観察を始めようとしたところに雨曇りが立ち込めたため、小学校理科室で講師の関谷育雄さん(元中学理科教師)指導のもと、「星座表」アプリを使った冬の星座を疑似観察し、金星や木星、土星の見え方の変化のお話を聞きました。

質問コーナーでは参加者の小学生からもたくさんの質問もあり、次回は晴れた夜空でペンギン観察会をしようとして盛り上がりました。



↑  
写真右下は2月16ほどのオリジナル天体望遠鏡(次回、お楽しみに!)



↑タブレットの星座観察



←小学校理科室でのお話の様子

### ■今後の活動予定

○薬膳料理教室 1/17(金) 講師:久野耕沙子さん(栄養士、国際中医薬膳師)  
→とりめしと薬酸たっぷりの野菜料理を楽しみます!

○城島公民館祭り 2/26(土)27(日)

→「里づくり事業」の令和3年の活動の様子を紹介します!

\*「里づくり事業」では令和4年度に向け、幅広い交流・体験の場づくりを企画していきます。地域の皆さんで協力いただける方、ご連絡お待ちしております。

\*HP「城島へようこそ!」 <https://hiratsuka-kijima.jimdofree.com/>

\*里づくり事業実行委員会(城島公民館内) 0463-55-1525



## 「公民館だより」活動報告

# 第3 令和4年度事業計画

## (1) 令和4年度ゴールイメージ

### ●目標と成果

- ・ 地元の次世代の参画、地域外の事業共感者の協力、ならびに大学・高校との連携を拡充させつつ **自立的な地域主導型の運営体制の構築**
- ・ 若い人たちの視点やアイデア、地域外からの参加者との交流を実感することで、**高齢者と次世代が手を取り合って持続的な地域活性化に結びつける土壌づくり**

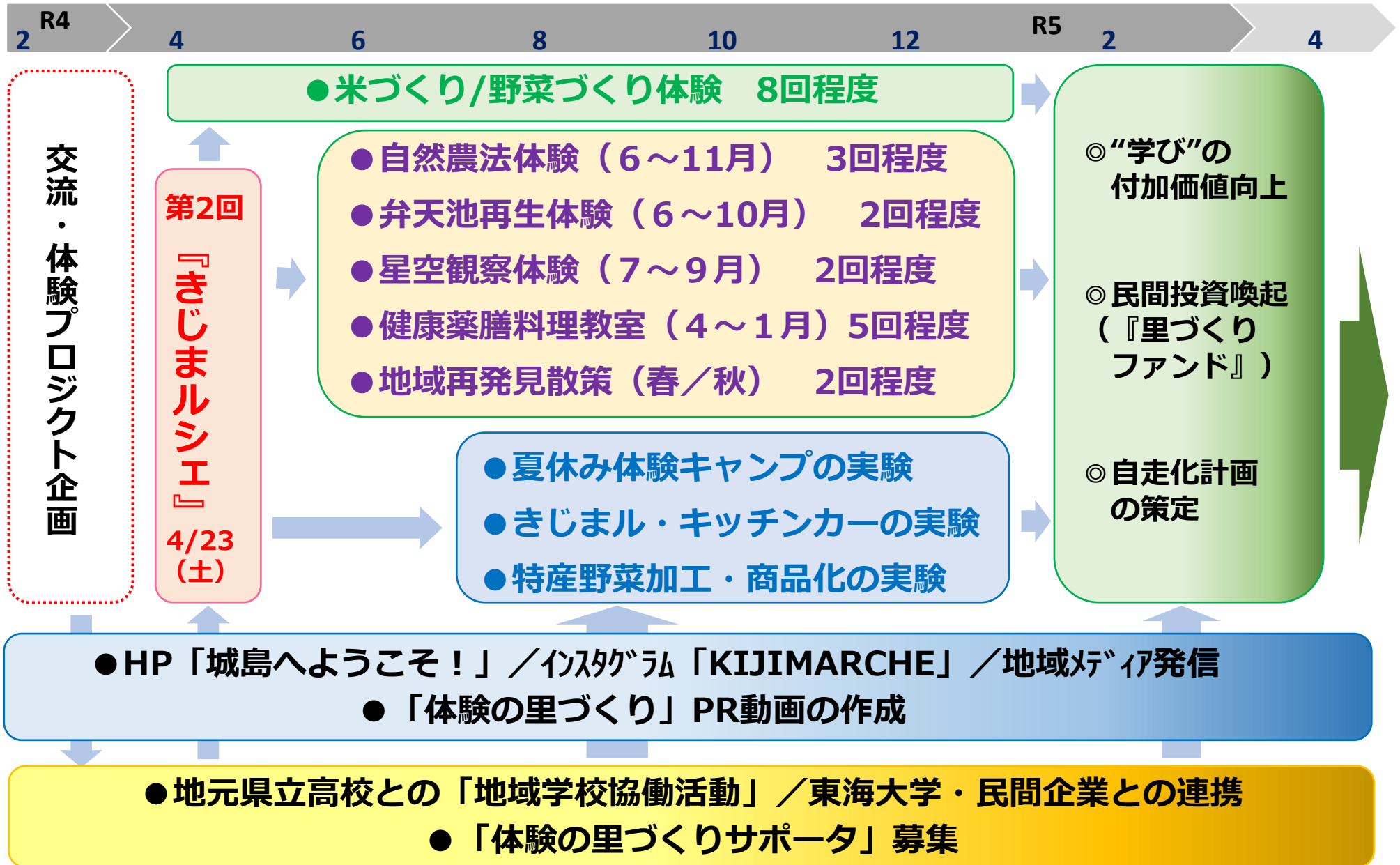


### ●活動内容

- ・ 体験プロジェクトの **豆知識・学びテキスト作成と通年化、ツアー化**
- ・ 地域特産素材活かした **オリジナルレシピ作成、加工・商品化の実験**
- ・ **地元県立高校との「地域学校協働活動」、東海大学の地域連携研究（卒論研究フィールド）と連携した実効性ある企画運営体制の構築と実践**
- ・ **「体験の里づくり」のPR動画を通じて持続的活動を支える“人材”と“原資”確保の仕組みの構築**
- ・ **本格活動の拠点として、既存地域施設の活用、空家・休耕地の活用**の具体化

# 第3 令和4年度事業計画

## (2) 令和4年度スケジュール



# 第3 令和4年度事業計画

## (3) 実施体制

### ● 企画運営の実働・サポート体制の拡充

- ・ 地元活動団体代表主導体制から**次世代担い手参働体制による4グループ運営**
  - \* 渉外G、広報G、農地活用G、資源活用Gのスタッフ強化
- ・ プログラム運営の**「サポーターズ制度」の立上げ**
  - \* 実働の協力者（サポーター）、活動の支援金（サポートファンド）等

### ● 外部機関との連携強化

- ・ **平塚市推進の関連事業の連携**
  - \* まち活拠点「きちきち」 \* 着地型観光 \* サンサンマルシェ 等
- ・ **観光協会、交通事業者、JA等との連携**

## (4) 地元県立高校との「地域学校協働活動」取り組みの方向

- 「きじマルシェ」と「高校マルシェ」のコラボ試行
- 休耕地の**体験農地、演習フィールド**としての活用・管理の実験協力
- 葉酸豊富な地元野菜を使った**特産品の試作、健康薬膳レシピ**の開発協力
- 新たな地域魅力発見と**体験プログラムのコンテンツ企画・作成・PR**の協力
- 「きじマルシェ」や各種体験プログラムの**参加者意見分析**の協力

# 第3 令和4年度事業計画

## 参考：「地域学校協働活動」イメージ

高い専門性と人間力で社会に貢献する

- ・産業の発展及び社会の発展に寄与
- ・社会人基礎力を身に付けさせ、時代の進展に伴う諸課題に対応

学校と地域が協働した  
休耕地の管理・運営

特産品の活用やイベントの研究

地域の魅力発掘に  
向けたワークショップ

地域と企画・協働した農商マルシェの開催

活性化イベントへの参画

地元県立高校



城島地区

公民館

小学校

地域学校協働  
活動推進員  
(コーディネータ)

学校運営協議会

地域学校協働本部  
(城島地区地域活動推進会議)

里づくり事業  
実行委員会

農業・商業の専門教育を通して、  
休耕地や地域資源の活用、農業の担い手づくりなど  
地域活性化に向けた支援事業

# 第4 令和5年度（負担金終了）以降の展望

## ■めざす方向

○社会教育・生涯学習の一環として、小中学校、高校、大学ならびに地元民間企業との協力体制のもとで自立運営体制の構築と高齢者が活躍する機会創出の仕組みづくりをめざす

## ■組織体制

○「城島地区地域活動推進会議」の「里づくり事業実行委員会」を母体に外部機関と連携する自主運営組織への移行と将来的なNPO法人化を見据える

○「地域学校協働活動」の地元県立高校との協働運営の地域側事務局機能として備える

## ■財源基盤

○地元農産物の加工・商品化、農園レストラン化等、6次化と販路拡大をめざす

○周辺地域との連携による交流・体験ツアーの周遊化、通年化による収入増をめざす

○健康志向の企業の実験フィールドとしての投資等による財源の安定化をめざす

農と学びを通して支えあいながら地域運営していく共創社会へ

おわりに

共創社会における身近に農・学びがある暮らし・地域づくり



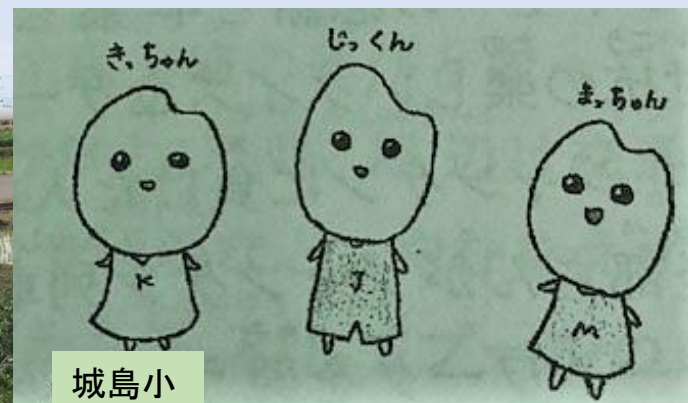
高齢者はじめ多世代が交流する持続性ある地域運営  
高齢者の経験とスキルを活かす“健康”と“生きがい”の創出  
「城島スタイル」の発信



かながわガーデンエリア・モデルに向けて



令和3年米/野菜づくり体験



城島小

城島地区キャラクター



令和3年「きじマルシェ」スタッフ

# 協力者募集（里づくりサポーターズ）！

## ■「里づくりサポーターズ」

本事業について、趣旨にご賛同いただき、**企画・運営にご協力いただける方（サポーター）**ならびに**活動の支援金（サポートファンド）**を募集しております。

事業活動の詳細は、下記をご覧ください。

\* HP「城島へようこそ！」

<https://hiratsuka-kijima.jimdofree.com/>



問い合わせ・お申し込みは、下記までよろしくお願いたします。

\* 里づくり事業実行委員会（城島公民館内）0463-55-1525

### ■「地域資源活用による交流型体験の里づくり事業」とは

- ・ 城島地区の田園環境・地域資源を活用した交流・体験型の活動を通じて、高齢者がいきいきと参画し、子育て世代をはじめ多世代が住み、働いていける環境・基盤づくりをめざしています。
- ・ 神奈川県「地域の支え合い仕組みづくり事業」として、令和2～4年度にかけて城島地区地域活動推進会議・平塚市・湘南NPOサポートセンターの3者の協議体で活動しています。